

職業実践専門課程の基本情報について

学校名		設置認可年月日	校長名		所在地		
麻生情報ビジネス 専門学校		昭和60年12月24日	竹口 伸一郎		〒812-0016 福岡市博多区博多駅南2-12-32 (電話) 092-415-2291		
設置者名		設立認可年月日	代表者名		所在地		
学校法人 麻生塾		昭和26年3月12日	理事長 麻生 健		〒820-0018 福岡県飯塚市芳雄町3-83 (電話) 0948-25-5999		
目的	基本情報技術者試験の取得、プログラマ実践力に加えて、システムの設計、構築ができるシステムエンジニアを育成する						
分野	課程名		学科名		専門士	高度専門士	
工業	工業専門課程		情報システム専攻科		平成22年文部科学 大臣告示第31号		
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技
3年	昼	2890	1776	1292	0	0	0
単位時間							
生徒総定員		生徒実員	専任教員数		兼任教員数	総教員数	
180人		184人	6人		3人	9人	
学期制度	■前期: 4月1日から9月30日 ■後期: 10月1日から3月31日			成績評価	■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 学期末試験、出席状況、授業態度 確認テストなどの総合評価		
長期休み	■夏期休業: 8月6日から9月6日 ■冬期休業: 12月25日から1月5日 ■春期休業: 3月1日から4月10日			卒業・進級 条件	ア. 指定科目全ての修得 イ. 学年の出席率90% ウ. 卒業基準検定の取得 エ. 学生としてふさわしい生活態度		
生徒指導	■クラス担任制: 有 ■長期欠席者への指導等の対応 面談、保護者への電話連絡			課外活動	■課外活動の種類 ボランティア活動 ■サークル活動: 有		
就職等の 状況	■主な就職先、業界等 情報サービス業 ■就職率 ^{※1} : 100% ■卒業者に占める就職者の割合 ^{※2} : 100% ■その他 (平成27年度卒業者に関する平成 28年4月1日)			主な資格・ 検定等	基本情報技術者試験		
中途退学 の現状	■中途退学者 9名 ■中退率 4.2% 平成27年5月1日 在学者 216名 (平成27年4月 入学者を含む) 平成28年3月31日 在学者 206名 (平成28年3月 卒業者を含む) 1名転出 ■中途退学の主な理由 他分野への進路変更 ■中退防止のための取組 入学説明会での職種およびカリキュラムに関する説明、定期的な面談						
ホームページ	URL: http://www.asojuku.ac.jp/abcc/						

※1「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」の定義による。

①「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したもとする。

②「就職率」における「就職者」とは、正規の職員(1年以上の非正規の職員として就職した者を含む)として最終的に就職した者(企業等から採用通知などが出された者)をいう。

③「就職率」における「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者は含まない。

(「就職(内定)状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等としている。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除いている。)

※2「学校基本調査」の定義による。

全卒業者数のうち就職者総数の占める割合をいう。

「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいう。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしない(就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う。)

1. 教育課程の編成

(教育課程の編成における企業等との連携に関する基本方針)

専門性に関する動向や、地域産業振興の方向性などについて意見交換を行うことで、より実践的な職業教育の質を確保する事を目的とする。教育課程編成委員会で意見交換した内容や企業・団体からの要望などをカリキュラム会議にて精査し、次年度以降の授業実施科目、教科書教材の選定、および授業内容の創意工夫に反映させる。

(教育課程編成委員会等の全委員の名簿)

平成28年5月1日現在

名前	所属
杉野 知大	社団法人福岡県情報サービス産業協会 企画調査委員会 副委員長
岡部 浩太郎	株式会社福岡CSK 営業部 部長
金丸 浩二	グローバルブレインズ株式会社 第1システム本部 部長
竹口 伸一郎	麻生情報ビジネス専門学校 校長
荒木 俊弘	麻生情報ビジネス専門学校 校長代行
姫野 マリ	麻生情報ビジネス専門学校 リーダ

(開催日時)

平成27年度 第1回 平成27年7月3日 18:30～19:10
平成27年度 第2回 平成27年11月6日 16:05～18:00
平成28年度 第1回 平成27年7月4日 16:30～18:00

2. 主な実習・演習等

(実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針)

基礎知識を体系的に学習した学生に対して、実践能力を向上させる目的で研究テーマの選定や技術指導など、演習科目を中心に企業等と連携した授業を実施する。実践的な技術指導を受けるだけでなく、技術者と直接コミュニケーションの機会を多く持つように運用する。

科目名	科目概要	連携企業等
卒業研究A	グループで研究テーマの設定およびシステム企画を行い、企画書を作成する。中間レビューにより内容をブラッシュアップし、最終的に企画プレゼンテーションを行い、企業の評価をもらう。	グローバルブレインズ株式会社
卒業研究B	前期に作成した企画書に基づいてシステム開発を行い、成果をプレゼンテーションする。中間レビューや成果発表などで企業の評価をもらうことで実践力を育成する。	グローバルブレインズ株式会社

3. 教員の研修等

(教員の研修等の基本方針)

教職員に対して、現在就いている職又は将来就くことが予想される職に係る職務の遂行に必要な知識又は技能等を修得させ、その遂行に必要な教職員の能力及び資質等の向上を図ることを目的とする。専攻分野における実務に関する研修や、指導力の修得・向上のための研修を教職員の業務経験や能力、担当する授業科目や授業以外の担当業務に応じて実施し、より高度な職務を遂行するために必要な知識を修得させる。また、教育課程編成委員会などの意見を元に作成したカリキュラムを運用するために必要となる知識や技術と教員とのスキルを比較し、不足しているものを中心に研修計画を立てる。外部の教育機関が実施する研修または企業等から講師を招いての研修を受講する。

4. 学校関係者評価

(学校関係者評価委員会の全委員の名簿)

平成28年5月1日現在

名 前	所 属
中島 みえ子	保護者 情報工学科在校生 保護者
中園 晴久	卒業生 平成6年度情報経理科 卒業生
浦川 美代子	自治会長 博多駅南1丁目1区 自治会長
大山 明	高等学校 久留米市立南筑高等学校 校長
杉野 知大	社団法人福岡県情報サービス産業協会 企画調査委員会 副委員長
牛島 賢二	社団法人福岡県情報サービス産業協会 企画調査委員会 副委員長
荒井 秀和	Training Center Japan 事務局長
馬場 伸一	NPO法人 九州組込みソフトウェアコンソーシアム 事務局長
富田 雅志	福岡市経済観光文化局 国際経済コンテンツ部コンテンツ振興課 課長
伊藤 寛通	公益財団法人 画像情報教育振興協会 教育事業部教育推進グループセクションチーフ
長沢 昭彦	一般社団法人 日本経営協会 九州本部長
高岡 宏光	三井情報株式会社 西日本営業部 西日本営業第三室 室長
戸倉 彩	日本マイクロソフト株式会社 テクニカルエバンジェリスト
岡部 浩太郎	SCSK九州株式会社 営業部 部長
竹末 雅輝	株式会社システナ 福岡開発センター センター長
芦原 秀一	株式会社ネットワーク応用技術研究所 取締役
小畑 昌之	安川情報システム株式会社 ソフトウェア研究開発センター 課長
金丸 浩二	グローバルブレインズ株式会社 第1システム本部 部長
白根澤 信孝	ユニアデックス株式会社 システムサービス二部 部長
松尾 昌弘	株式会社システムオーディット 代表取締役社長
宮崎 太一郎	株式会社サイバーコネクトツー 取締役副社長
今治 智隆	株式会社ヴァイス 代表取締役
須貝 克俊	九州アニメーション株式会社 代表取締役
矢野 修作	株式会社ディーゼロ 代表取締役
田上 喬	株式会社ハッピープロジェクト コンテンツ事業部 部長
大久保 英昭	看公税理士法人 黒岩公認会計士事務所 所長代理
小林 憲一	小林憲一税理士事務所 所長
岩永 茂敏	リコージャパン株式会社 九州事業本部 九州支社 MA事業部 公共担当室 室長
沖田 敏治	株式会社アイスリーラボ 代表取締役
菊本 健司	株式会社アルファクス・フード・システム マーケティング営業戦略部 次長
下部 貴志	株式会社Flourish 総務部 部長

(学校関係者評価結果の公表方法)

URL: http://www.asojuku.ac.jp/wp-content/uploads/2015/10/hyoka_abcc.pdf

5. 情報提供

(情報提供の方法)

URL: <http://www.asojuku.ac.jp> <http://www.asojuku.ac.jp/abcc>

授業科目等の概要

(工業専門課程 情報システム専攻科)平成28年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験 ・ 実 習 ・ 実 技	校 内	校 外	専 任	兼 任	
○			ハードウェア ／ソフトウェア 概論A	基本情報技術者試験 午前・午後試験で問われるコンピュータの基礎理論、コンピュータの構成要素、ソフトウェア、OSの機能に関する基礎的な知識を学ぶ。	1前	130		○			○		○		
○			ハードウェア ／ソフトウェア 概論B	基本情報技術者試験 午前・午後試験で問われるコンピュータの基礎理論、コンピュータの構成要素、ソフトウェア、OSの機能に関する基礎的な知識を学ぶ。	1後	24		○			○		○		
○			データベース ／設計概論A	基本情報技術者試験 午前・午後試験で問われる関係データベース、正規化、SQL、DBMS管理、開発モデル、設計、開発、テスト、導入に関する基礎的な知識を学ぶ	1前	52		○			○		○		
○			データベース ／設計概論B	基本情報技術者試験 午前・午後試験で問われる関係データベース、正規化、SQL、DBMS管理、開発モデル、設計、開発、テスト、導入に関する基礎的な知識を学ぶ	1後	48		○			○		○		
○			ネットワーク ／セキュリ ティ概論A	基本情報技術者試験 午前・午後試験で問われるネットワークアーキテクチャ、LAN、WAN、TCP/IP、ネットワークセキュリティに関する基礎的な知識を学ぶ	1前	52		○			○		○		
○			ネットワーク ／セキュリ ティ概論B	基本情報技術者試験 午前・午後試験で問われるネットワークアーキテクチャ、LAN、WAN、TCP/IP、ネットワークセキュリティに関する基礎的な知識を学ぶ	1後	24		○			○		○		
○			アルゴリズム A	基本構造、変数、配列、基本的なアルゴリズムの手法を学ぶ	1前	78		○			○		○		
○			アルゴリズム B	擬似言語表現によりアルゴリズム構造を学ぶ	1後	48		○			○		○		
○			プログラミン グ概論A	基本情報技術者試験 午後試験で問われる言語に関する基礎的な知識を学ぶ	1前	16		○			○		○		
○			プログラミン グ概論B	基本情報技術者試験 午後試験で問われる言語に関する基礎的な知識を学ぶ	1後	24		○			○		○		
○			ストラテジ/ マネジメント 概論	基本情報技術者試験 午前試験で問われるプロジェクトマネジメント、システム戦略、企業活動、法務に関する基礎的な知識を学ぶ	1前	26		○			○		○		

		○	情報処理試験 秋期対策ⅢA (選択)	秋期情報処理試験対策を行なう	3前	32			○			○			○		
		○	情報処理試験 秋期対策ⅢB (選択)	秋期情報処理試験対策を行なう	3後	50			○			○			○		
		○	情報処理試験 春期対策ⅢB (選択)	春期情報処理試験対策を行なう	3後	24			○			○			○		
○			プログラミング演習A	Javaプログラミングの基礎を学習し、制御文を中心としたプログラムアルゴリズムの理解を深める。	1前	84			○			○			○		
○			プログラミング演習B	プログラミング演習 I Aに引き続きJava言語を学習し、オブジェクト指向プログラミングの理解を深める。	1後	80			○			○			○		
○			データベース演習	データベースの概要を学習し、SQLの文法を身に付ける。	1後	60			○			○			○		
○			UIデザイン演習A	HTML言語とスタイルシートにより基本的なWebページを作成するための知識を身につける	2前	56			○			○			○		
○			UIデザイン演習B	JavaScriptにより応用的なWebページを作成するための知識を身につける	2後	30			○			○			○		
○			Webアプリケーション開発演習 I A	JSP/Javaサーブレットを利用したWebシステム構築に必要な開発技術を学ぶ。	2前	140			○			○			○		
○			Webアプリケーション開発演習 I B	JSP/Javaサーブレットを利用し、データベースを連携させた実践的なWebプログラム開発を個人で行う	2後	150			○			○			○		
○			Webアプリケーション開発演習 II	JSP/Javaサーブレットを利用し、データベースを連携させた実践的なWebプログラム開発をチームで行う。またテストに関する手法も学ぶ。	3前	140			○			○			○		
○			モバイルアプリケーション開発演習	Android上で動作するアプリケーションの開発における基礎技術を学ぶ。	3前	140			○			○			○		
○			システム開発応用技術	PHPを用いてWebシステムを作成する技術を学ぶ。	3後	90			○			○			○		
○			卒業研究A	チームごとに研究テーマと目標を定め、システムの企画を行う	3前	56			○			○			○	○	○

○		卒業研究B	卒業研究Aの企画を元に設計・開発を行う。成果発表会にて開発した成果をプレゼンテーションする。	3後	270				○		○			○	○	○
○		一般教養Ⅰ	一般教養力としての文書作成力や読解力をつけるための演習を行う。	1後	20				○		○					○
○		一般教養ⅡA	一般教養力としての数学の基礎能力向上を目的として学習する。	2前	28				○		○					○
○		一般教養ⅡB	一般教養力として就職試験にて求められる言語能力、非言語能力の向上を目的として学習する。	2後	30				○		○					○
○		ビジネスコミュニケーションⅠ	ビジネスコミュニケーションに求められる基礎スキル（チームワーク・聴く・読む・伝える）の大切さを理解させる	1後	20				○		○					○
○		ビジネスコミュニケーションⅡ	ビジネスコミュニケーションに求められる論理的スキル（論理思考、説得交渉、問題解決手法）の大切さを理解させる	2後	30				○		○					○
○		ビジネスコミュニケーションⅢ	ビジネスコミュニケーションに求められる提案スキル（論理思考、説得交渉、問題解決手法）の大切さを理解させる	3前	28				○		○					○
○		提案実践演習	説得力のあるシステム提案書に必要な構成要素や作成手順を学び、実際にRFPからシステム提案書を作成する演習を行う	3後	30				○		○					○
○		GCBⅠ	グローバル社会で活躍する社会人に必要な人間力を育成する。「感謝と思いやり」をテーマに学ぶ。	1前	16				○		○					○
○		GCBⅡ	グローバル社会で活躍する社会人に必要な人間力を育成する。「志」をテーマに学ぶ。	2前	16				○		○					○
○		英語リーディングⅠ	英語の基礎文法を学び、英文を読める力をつける	2後	30				○		○					○
○		英語リーディングⅡ	IT技術者として必要な技術英単語の知識を深め、英語の技術文書が読める力をつける	3前	28				○		○					○
○		英語コミュニケーション	基本的な日常英会話を中心に英会話センテンスの聞き取り練習と、口答練習を行う	3後	30				○		○					○
○		ビジネスマナー	社会人としての心構えと言葉づかい、電話対応、来客対応、訪問のマナーなどの新入社員として必要なビジネスマナーを身につける	3後	30				○		○					○

○		就職実務ⅠA	就職活動において必要な準備を行う	2前	28	○		○		○			
○		就職実務ⅠB	就職活動において必要な準備を行う	2後	60	○		○		○			
○		就職実務Ⅱ	就職活動において必要な準備を行う	3前	28	○		○		○			
○		ビジネスソフトウェア演習Ⅰ	Microsoft社のOfficeソフトのうちExcelの使い方を学ぶ。	1前	28			○		○			○
○		ビジネスソフトウェア演習Ⅱ	Microsoft社のOfficeソフトのうちWord, PowerPointの使い方を学ぶ。	2前	28			○		○			○
合計				53科目		2890単位時間(単位)

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
<ul style="list-style-type: none"> ・各学年における当該学科の指定科目をすべて履修・修得していること。 ・卒業基準検定を取得していること。 ・学年の出席率が90%以上であること。 ・学生としてふさわしい生活態度であること。 	1 学年の学期区分	2期	
	1 学期の授業期間	15週	

(留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。